

令和2年度
(2020年度)

土木部の取り組み実績

＜部長の方針・考え方＞

- ①大規模災害や感染症拡大時も含めた「セーフティネットの構築」
- ②チャレンジスピリットや未来志向をもった
「魅力ある都市基盤整備」「安全・安心のまちづくり」「みどり豊かな都市環境の創造」
- ③社会的効用を発揮し続ける「公園のあり方検討と適正な維持管理」

具体的な取り組み：セーフティネットの確保・維持・改善

新型コロナウイルス感染症予防を考慮した上で、道路や公園等、生活を守り豊かにするための都市基盤に携わる部として、セーフティネットの確保・維持・改善に取り組みます。

- ◆道路・公園等の整備から維持管理まで一貫して所管する部として、各課間の連携を密にし、効率的・効果的に事務事業の執行を図ります。併せて、日頃より持続可能な体制を構築することで、大規模災害や感染症拡大時においても、効率的・効果的に事務事業の執行を図ります。
- ◆災害時に万全の対応が取れるよう、訓練などによる検証を繰り返し、充実した態勢を整えます。



道路啓開（救援ルート確保）訓練



橋梁点検訓練

実績

- ① 市内一斉道路パトロールを実施。
＜実施回数：2回（6月、11月）、道路損傷箇所：278件＞
- ② 長尾船橋線の道路空間再配分整備工事（2工区）を完了。
- ③ 土砂災害特別警戒区域内の世帯に土砂災害に関するリーフレットを配布。
＜7月：571世帯、10月：567世帯＞
- ④ 「土木部危機管理対応マニュアル」及び「土木部災害対応マニュアル」を改定。
- ⑤ 災害に対する訓練を実施。
土木部防災無線通信訓練＜実施回数：10回＞
土木部参集訓練＜実施回数：1回（3月）＞
土木部災害対策訓練＜実施回数：1回（3月）＞

説 明	① 市が管理する道路の異常や不具合を早期に発見するため、一斉パトロールを半期に一度行い、応急対応を実施しました。今後も引き続き道路の異常等の早期発見に努めます。 ② 長尾船橋線において、安全で快適な歩行空間の確保並びに道路の適切な維持管理のため、歩道拡幅及び段差解消や路面のリフレッシュ整備を一体的に実施する道路空間再配分事業を完了しました。 ③ セーフティネットの観点から、庁内関係部署と連携し、台風接近などの災害に備えて、土砂災害特別警戒区域内の居住者に土砂災害の危険性や支援制度に関するリーフレットを配布し、災害への備えや早期の避難行動の啓発を行いました。 ④ 市が管理する道路・橋梁・公園・準用河川等の施設において、地震や台風被害など危機事象による非常事態が発生した場合に、迅速に対応できる体制を構築するためマニュアルを改定しました。 ⑤ 土木部防災無線通信訓練について、土木部内各室課に配備されている枚方市デジタルMC A無線を有効に活用するため、毎月第3水曜日に通信訓練を実施しました。 土木部参集訓練については、土木部内全職員を対象として、予測できない災害に対応するため、事前の訓練情報を伏せたブラインド方式による災害情報システム応答訓練を実施しました。 また、土木部災害対策訓練については、毎年3月頃に図上訓練や実動訓練を行っていますが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から、防災動画を鑑賞し、防災に関する知識の向上を図りました。
---	---

具体的な取り組み： 枚方市総合交通計画の推進

本市の将来都市像の実現を図る観点から、交通事業とまちづくりが連携した総合的かつ計画的な交通施策の実施に取り組めます。特に、持続可能な交通の実現のため、地域支援・自主運行型コミュニティ交通システムについて、地域と協働によるモデル事業の構築をめざし、交通に対する意識の醸成や機運の向上に向けた支援、地域に合った交通の検討を進めます。

実 績	① 各交通関係者が取り組む施策パッケージの進捗状況を協議会の委員へ報告。 ② 交通に関する地域勉強会を開催。＜実施回数：9回＞ ③ 枚方市ボランティア輸送補助金交付要綱、要領を策定。
説 明	① 「枚方市総合交通計画」に基づく施策を推進するため、市民や交通関係機関等が参画する協議会において、各実施主体が取り組む施策の実施状況の確認や、今後の進め方について、毎年議論を行っています。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から、施策の実施状況について、電子メール

	にて協議会の委員へ報告しました。 令和3年度も引き続き、「枚方市総合交通計画」に基づく施策の推進に取り組みます。 ② 交通に関する地域課題解消や市民意識の醸成を図るため、地域勉強会を開催しました。今後も引き続き、地域と連携した取り組みを進めます。 ③ 地域支援・自主運行型コミュニティ交通システムのモデル事業の一つであるボランティア輸送に関する補助金交付要綱及び要領を策定しました。令和3年度は、本補助金を活用し、ボランティア輸送の取り組みを進めます。また、他の地域についても、持続可能な交通の実現のため、地域と協働によるモデル事業の構築に向けた検討を行います。
--	---

具体的な取り組み： 都市計画道路の整備

都市基盤として安全・快適で活力を生む道路交通網の整備に取り組みます。

本市の道路ネットワークの軸となる都市計画道路については、安全で円滑な交通環境の構築や緊急時の避難経路や輸送経路の強化を図るため、第二京阪道路へアクセスする牧野長尾線や長尾杉線、また、通学路等の安全な歩行空間の確保に繋がる御殿山小倉線や中振交野線の整備を計画的に進めます。また、新名神高速道路やそのアクセス道路となる内里高野道線について、早期完成を大阪府や関係機関に働きかけるとともに、北山通線の改良に取り組みます。併せて、淀川を渡る牧野高槻線等については、大阪府に早期完成を働きかけるとともに、用地取得等に関する覚書に基づく実施協定を締結するなど大阪府と連携した取り組みを進めます。



牧野長尾線 JR アンダーパス工事

実績	① 都市計画道路整備事業を推進。 牧野長尾線の整備工事と用地取得を実施。＜整備延長 240m＞ 長尾杉線の整備工事と詳細設計、用地取得を実施。＜整備延長 57.5m＞ 御殿山小倉線の伐採工事と用地取得を実施。 中振交野線の整備工事と用地取得を実施。＜整備延長 176.54m＞ 北山通線の詳細設計を実施。 ② 新名神高速道路、内里高野道線の整備を促進し、北山通線の整備を推進。 ネクスコ西日本による事業認可説明会を開催。 ＜用地取得率:94%、工事着手率:97%＞ 内里高野道線・北山通線の連絡調整会議を開催。 大阪府による内里高野道線の工事説明会を開催。
----	---

	③ 牧野高槻線及び京都守口線の整備を促進。 大阪府による牧野高槻線及び京都守口線に係る連絡調整会議を開催。 用地取得等に関する覚書に基づく実施協定書を締結。
説 明	① 牧野長尾線整備事業については、鉄道との交差部のアンダーパス工事を完了し、長尾播磨谷地区及び長尾東町地区の整備工事及び事業用地の取得を進めました。 長尾杉線整備事業については、杉工区において、国道 307 号側からの整備工事に着手するとともに、長尾工区の詳細設計を完了しました。また、杉工区、長尾工区の事業用地の取得を進めました。 御殿山小倉線整備事業については、市道渚星ヶ丘線側からの伐採工事及び事業用地の取得を行いました。 中振交野線整備事業については、さだ神社前の整備工事及び事業用地の取得を進めました。 北山通線整備事業については、詳細設計を進めました。 令和 3 年度も引き続き、市内の渋滞緩和や物流の円滑化、大規模災害時における市域の都市機能の維持や、早期回復など国土強靱化に資する道路交通ネットワークを構築するため、都市計画道路の整備を計画的に進めます。 ② 新名神高速道路の早期完成に向け、引き続き、事業主体であるネクスコ西日本や大阪府との連携を図るとともに、地域主催の新名神対策委員会などを通じて、地域との連絡調整を行いました。 令和 3 年度は、新名神高速道路に係る関係機関とのさらなる協力体制の強化を図るとともに、アクセス道路となる内里高野道線の整備促進及び、北山通線の整備を進めます。 ③ 淀川の渡河橋となる牧野高槻線整備事業について、現在、大阪府により予備設計が進められています。当事業の早期完成に向け、本市の協力体制として実施する用地買収に関する事務に係る、実施協定書を 3 月に締結しました。 令和 3 年度は、この実施協定書に基づき、用地測量に着手します。

具体的な取り組み： 道路・公園・準用河川等の効率的・効果的な維持管理

道路や公園、準用河川などの機能や安全性を確保するため、これらの施設の異常や支障箇所の早期発見を目的に各関係機関との連携や部内でも引き続き定期的なパトロールを行うなど、迅速な対応に努めます。また、効率的・効果的で持続可能な維持管理を促進するため、舗装や橋梁、公園等施設の長寿命化計画に基づき、国の補助金などを活用しながら更新、改築等を行います。

準用河川については、自然災害に強い河川環境を確保し、維持管理を効率的に行うため、整備計画の策定に取り組めます。

実 績	① 市内一斉道路パトロールを実施（再掲）。 <実施回数：2回（6月、11月）、道路損傷箇所：278件> ② 道路補修及び公園等に対する要望の対応を実施。 <道路補修等の要望に対する対応：2,949件> <公園の要望に対する対応：2,261件> ③ 橋梁点検と「枚方市橋梁長寿命化修繕計画」の更新。 <橋梁点検数：30橋> ④ 「舗装長寿命化修繕計画」及び「枚方市橋梁長寿命化修繕計画」等に基づく、修繕工事を実施。 舗装長寿命化修繕計画<工事：6路線、実施設計：4路線> 枚方市橋梁長寿命化修繕計画<工事：6橋、実施設計：6橋> ⑤ リフレッシュ整備事業を実施。<工事：3路線（延長712.8m）> ⑥ 「枚方市公園施設長寿命化計画」に基づく、公園の更新工事等を実施。 <更新：15公園、実施設計：22公園> ⑦「準用河川穂谷川他整備基本計画」の策定。
説 明	① 市が管理する道路の異常や不具合を早期に発見するため、一斉パトロールを半期に一度行い、応急対応を実施しました。（再掲） ② 道路や公園、準用河川などの機能や安全性を確保するため、要望に基づく補修等を行いました。特に、利用者の安全に影響のある損傷等については、夜間・休日を含め迅速に現場を調査し、直営施工にて危険回避のための緊急対応を行いました。 ③ 「枚方市橋梁長寿命化修繕計画」について、橋梁の1巡目の点検結果から、修繕の優先順位、ライフサイクルコストを考慮したコスト縮減等について見直しを行い、令和3年3月に更新しました。令和3年度も引き続き、当計画に基づき、予防保全型の維持管理を実施していきます。 ④ 「舗装長寿命化修繕計画」及び「枚方市橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、長尾春日線や無名177号橋等の修繕工事及び実施設計を実施しました。 ⑤ 主要幹線道路や都市計画道路など12路線の路面の補修等を計画的に行うリフレッシュ整備事業として、中宮津田線・牧野長尾線・長尾船橋線の工事を実施しました。 令和3年度も引き続き、計画的に工事及び実施設計を行い、効率的・効果的で持続可能な維持管理を進める事により、安全で快適な道路環境の確保を図っていきます。 ⑥ 安全性の確保とライフサイクルコストの縮減を図るため、「枚方市公園施設長寿命化計画」に基づき、阪今池公園等の遊具等の更新工事や、更新に係る設計を実施しました。 令和3年度も引き続き、施設の老朽化等による事故の未然防止を図るため、計画的に工事及び実施設計を進めます。

	⑦ 自然災害に強い河川環境を確保し、維持管理を効率的に行うため、準用河川の整備基本計画の策定業務を完了しました。 令和３年度については、この整備基本計画に基づき段階的な整備検討に取り組みます。
--	--

具体的な取り組み： 市内主要駅周辺の交通環境の改善

枚方市駅周辺については、枚方市駅周辺再整備ビジョンの将来像を見据え、枚方市総合文化芸術センターの開館に向けて、歩道拡幅やエスカレーターの設置など、交通環境の基盤整備を進めます。樟葉駅周辺については、駅前ロータリーの詳細設計が完了し、今後、交通環境の改善に向けた整備を進めます。御殿山駅周辺については、令和元年度に駅前ロータリーの改良に取り組み、今後も安全・安心な歩行空間の確保に向け、関係機関との協議や地域と協働・連携した取り組みを継続します。

実 績	① 枚方市駅周辺において、エスカレーター設置工事を実施。 ② 樟葉駅周辺において、駅前ロータリーの改良工事に着手。 ③ 御殿山駅周辺において、関係機関や地元コミュニティとの意見交換会を開催。 ＜実施回数：１回（１２月）＞
説 明	① 枚方市総合文化芸術センターの開館に向け、枚方市駅からの安全な歩行者動線の確保のため、令和元年度に完了した歩道拡幅に続き、枚方横断歩道橋エスカレーター設置工事を完了しました。 令和３年度は、枚方市駅前線の無電柱化に向けた詳細設計や枚方市駅北通り線の高架下道路改良の詳細設計を進めます。 ② 樟葉駅前ロータリーの交通環境の改善に向けた改良工事に着手しました。令和３年度も引き続き、改良工事を進め年度内の完了を目指します。 ③ 平成３０年度にとりまとめた「御殿山駅周辺の交通安全対策に関するワークショップのまとめ」に基づき、関係機関や地元コミュニティとともに交通安全対策の進捗状況の確認を行い対策の効果検証を実施しました。令和３年度も引き続き、関係機関との調整や地域と協働・連携した取り組みを進めます。

具体的な取り組み： 安全・安心で快適な交通環境の創出

通学路や未就学児移動経路の安全対策としては、安全な歩行空間の確保を図るため、桜丘北小学校内の用地を活用した禁野春日線歩道拡幅など「通学路交通安全プログラム」等に基づく対策に取り組むとともに、信号交差点の車両乗り上げ防止対策を図っていきます。長尾船橋線など、段差が大きい歩道については、引き続き改良に向けた整備を進めるとともに、「枚方市自転車活用推進計画」等に基づき、安全で快適な歩行空間及び自転車通行空間の確保に向けた整備を進めます。

実 績	① 禁野春日線の歩道を拡幅。＜整備延長 123m＞ ② 枚方藤阪線・渚星ヶ丘線の横断防止柵設置＜整備延長 960m＞、信号交差点の車両乗り上げ防止対策を実施＜8 交差点 16 か所＞。 ③ 「枚方市通学路交通安全プログラム」に未就学児の移動経路の安全対策を含めた「枚方市子どもの交通安全プログラム」の策定に向けた検討を実施。 ④ 枚方新香里線の歩道拡幅に向けた詳細設計に着手。 ⑤ 宮之阪第 13 号線のバリアフリー化整備工事を完了。 ⑥ 長尾船橋線の道路空間再配分整備工事（2 工区）を完了。（再掲） ⑦ 楠葉中央線の自転車通行空間整備工事（1 工区）を完了。
説 明	① 「枚方市通学路交通安全プログラム」に基づく安全対策として、桜丘北小学校の学校敷地を一部活用し、歩道を拡幅することにより、通学路の安全を確保する取り組みを行いました。 ② 未就学児の移動経路における緊急合同点検により抽出された対策必要箇所において、横断防止柵の設置や信号交差点の車両乗り上げ対策としてのガードパイプや車止めの設置に取り組みました。今後も引き続き対策を実施します。 ③ 「枚方市通学路交通安全プログラム」に基づき児童の通学路の交通安全対策に取り組んでいますが、このプログラムに、就学前施設における移動経路の安全対策を含めた「枚方市子どもの交通安全プログラム」の策定に向けた取組を進めました。今後も子どもの移動経路の安全対策に取り組めます。 ④ 枚方新香里線については、「枚方市通学路交通安全プログラム」に基づき、地域や交通管理者などの関係機関と協議・調整を図りながら、歩道拡幅に向けた詳細設計を進めました。令和 3 年度も引き続き、詳細設計を進めるとともに歩道拡幅に必要な用地取得に向け関係者と協議・調整を進めます。 ⑤ 宮之阪周辺地区については、「枚方市バリアフリー基本構想」に基づく道路特定事業計画により、宮之阪第 13 号線のバリアフリー整備工事を進めました。令和 3 年度は、禁野第 3 号線のバリアフリー整備工事を進めます。 ⑥ 長尾船橋線において、安全で快適な歩行空間の確保並びに道路の適切な維持管理のため、歩道拡幅及び段差解消や路面のリフレッシュ整備を一体的に実施する道路空間再配分事業を完了しました。（再掲） ⑦ 楠葉中央線については、「枚方市自転車活用推進計画」に基づく枚方市主要鉄道駅周辺自転車ネットワーク計画により、自転車通行空間整備工事（1 工区）を完了しました。令和 3 年度も引き続き、自転車通行空間整備工事（2 工区）を進めます。

具体的な取り組み： 公園の整備と緑地保全や緑化推進によるみどり豊かな都市環境の創造

王仁公園については、現施設の指定管理運営と並行して、魅力あふれる公園のあり方を検討し、パークマネージメントの考え方を取り入れ、PPP／PFI手法等（P－PFIを含む）の導入



香里ヶ丘図書館 イメージ図

図書館とつながる公園 みどりの広場

による可能性を調査し、再整備の基本方針を定めます。また、香里ヶ丘中央公園については、香里ヶ丘地域の活性化につなげることを目的に、駐車場拡張等の整備を行うとともに、図書館と「みどりの広場」を一体的に運営し機能連携による賑わいづくりを進めるなど、リニューアルオープンに向けて取り組みます。緑化推進については、まちなか緑化の推進や公園・緑地の利活用の促進を効率的・効果的に推進できるよう、緑化に関わる市民活動の支援を行うとともに、里山保全についても、市民等による森林ボランティアや企業による環境貢献活動への支援などにより、里山の保全・活用を促進します。

4月の新型コロナウイルス感染症予防に係る緊急事態宣言の発令を受け、公園施設等においても、運動施設や大型遊具、駐車場等の利用制限に併せて利用方法の啓発看板の設置など3つの密を回避するための対策を講じ、利用者への情報伝達が的確かつ迅速に伝わるよう努めました。今後は、新たな日常の中での公園の社会的効用に関する情報発信と安全利用のための対策に取り組めます。

実 績	① 王仁公園のあり方検討調査を実施。 ② 香里ヶ丘中央公園の改修工事を実施。 ③ 緑化推進の取り組みを実施。 花いっぱい健康づくりプロジェクト＜市内福祉関係施設7か所で実施＞ 緑化活動団体支援補助金を創設＜補助金交付：2件＞ 新生児誕生記念苗木を配付＜配布本数：682本＞ 花と緑のまちづくり事業＜緑化施設整備の補助：1箇所＞ 講習会を実施＜実施回数：2回 延べ55人参加＞ 公園アダプト＜230公園 168団体＞
-------------------	---

	④ 公園等において新型コロナウイルス感染症対策を実施。 注意喚起看板を設置。＜177 公園＞ 大型遊具の利用を禁止。＜23 公園＞ 公園駐車場の利用を制限。＜4 公園＞ 有料運動施設の利用を中止。＜3 公園＞ 噴水等親水施設の供用を停止。＜2 公園＞ 王仁公園プールを休止。 東部公園ドックランの利用を中止。 バasketボールの利用を中止。＜6 公園＞ 市民の森の会議室の利用を中止。
説 明	① 新型コロナウイルス感染症の影響により利用者動向の変化等が不明なため、基本方針の策定スケジュールを延期しました。今後は、新型コロナウイルス感染症の影響による利用者の動向等を再調査し、令和 3 年度末の基本方針策定をめざします。 ② 香里ヶ丘中央公園改修事業については、香里ヶ丘地域の活性化に向け、図書館との機能連携の強化を図るため、来園者の利便性の向上に向けた駐車場及びバリアフリーに対応する園路の改修工事を完了し、令和 2 年 7 月にリニューアルオープンしました。 ③ 緑化推進を主体的に担う市民の意識の醸成と持続的な活動につながる担い手の育成を図るとともに市民や市民団体、事業所など多様な主体と連携し、持続可能で効果的な緑化の取り組みを進めました。新型コロナウイルス感染症の影響により「緑化フェスティバル」など一部の取り組みを中止しました。 ④ 緊急事態宣言の発令以降、適宜各公園施設等の利用状況を見極めながら、運動施設、大型遊具、駐車場等の利用制限や利用方法の啓発看板の設置など新型コロナウイルス感染症の予防対策を実施しました。 また、新型コロナウイルス感染症の影響における公園施設等の利用制限内容や利用方法については、市ホームページ等に掲載し、啓発を行いました。